

# 会 議 録

会議の名称	那珂川市子育て支援推進協議会		
開催日時	平成 31 年 2 月 14 日 (木) 10 : 00 ~ 11 : 00	開催場所	市役所 2 階 第 1 会議室
出席者	<p>1. 委員 秋峯委員、飯田委員、江島委員、加峰委員、大谷委員、唐崎委員、平島委員、萬委員、Winters 委員 (欠席者) 足立委員</p> <p>2. 市 (事務局) 入江子育て支援課長、長田子育て支援課長補佐兼子育て支援担当係長、渡邊こども応援課こども応援担当係長 (子育て支援担当職員) 永野</p> <p>3. その他 株式会社サーベイリサーチセンター 水町研究員</p>		
配布資料	<p>■ 資料 2-1 : 那珂川市保育施設等 内定・保留通知発送状況</p> <p>■ 資料 3-1 : 那珂川市就学前調査票 (修正案) ※当日配布 (用語説明) 含む</p> <p>■ 資料 3-2 : 那珂川市就学児童調査票 (修正案)</p> <p>■ 資料 3-3 : 那珂川市就学児童独自調査検討 (案)</p>		
<p><b>議題及び審議の内容</b></p> <p>1. 会長あいさつ</p> <p>2. 那珂川市認可保育所及び認定こども園入所状況について (説明 : 事務局) ・平成 31 年 4 月からの内定状況について説明 【質疑・意見等】 意見なし</p> <p>3. 那珂川市次世代育成支援地域行動計画に伴うニーズ調査について (説明 : 事務局) ・ニーズ調査票 (修正案) 及び就学児童調査票の追加項目案について説明 【質疑・意見等】 就学前児童及び就学児童調査票の修正案については意見なし (委員) 例 1 の学童保育については、春夏冬によって利用希望が大きく異なると考えられる。このため、長期休暇中としてまとめるのではなく、春夏冬に分けて聞き取ったほうがいいのではないか。 (事務局) 那珂川市の場合、夏休みと春休みの利用が多い状況。指定業者への情報提供も視野に入ると、個別に把握しておいた方がいいかもしれない。ご指摘の通り、春夏冬と分けた設問に修正する。 (委員) 追加の調査項目を見ていると、全保護者に配布できたらいいと思う内容のものが多い。追加項目だけでも全保護者の意見があったら大変参考になるのでは。 (事務局) 全戸配布できるのがベストだが、あくまで今回は計画策定のためのニーズ調査という位置づけであり、無作為抽出を想定している。ご理解いただければと思う。</p>			

- (委員) かなりボリュームも多い調査内容になるため、空いた時間に回答してもらおうなど、本人の都合で回答できるよう、QRコードなどを入れることは可能か。
- (事務局) 委託の関係もあるが、QRコードを付与した場合のデータの管理・処理上の問題も別途発生するため、今回は書面での回答のみに限ることとする。
- (委員) 調査の期間はどの程度を見込んでいるか。
- (事務局) ここである程度確定できれば、来週発送したいと思っている。調査期間は2週間程度を想定している。
- (委員) 例2の暮らしの状況について、福岡県の学校教育の現場では「早寝・早起き・朝ごはん」を進めている。設問の順番を②早寝①早起き③朝ごはんの順番にしてはどうか。
- (委員) 保育現場では、②早く寝せるよりも、むしろ①早起きを優先している。早く起こせば自然と早く寝て生活リズムが出来てくる。標語に合わせるか、実態と合わせるかということところだと思うが、順番はあまりこだわらなくていいのではと思う。
- (事務局) それでは、事務局一任とさせていただきます。
- (委員) 文科省で実施している調査ということだが、これは市の結果との比較が可能か。
- (事務局) あくまで市の独自項目として調査結果を分析していきたいと思っているが、可能なものについては国の結果と比較するなどして傾向把握に努めたい。
- (委員) 資料3-1 問31の妊娠中や出産に関する心配事として、「出産費用の心配」もあるのではないか。
- (事務局) 今は、出産費用は健康保険から支給されるようになっているため、修正は省略とさせていただきます。
- (委員) 近年、スマートフォンの使用による児童への影響について、学力や視力に加え、精神面でも問題視されている。保護者の現状と考え方について、今回の調査で設問又は記述で設けられないか。
- (委員) ぐずっている子どもに対し、親がスマートフォンを与えて大人しくさせている。小学校、中学校で使い方は習うと思うが、スマホと接触させるのが低年齢化してきているように感じる。
- (委員) 事例として、8カ月の子どもにスマートフォンを与えて静かにさせる保護者を3,4年前に見ている。メディアをテーマにした講習会などを企画するものの、来てほしい保護者が来ない現状がある。那珂川市としてどう取り組んでいくのか、検討が必要ではないか。
- (委員) 調査するにしても、スマートフォンを小さいうちから使用することの弊害をきちんと明記しておかないと、抽象的になると思う。啓発的な意味では、市報に掲載するなどの方がいい気がする。
- (委員) 例2にスマートフォンの利用有無を聞いておけば那珂川市の状況が少しは見えるのではないか。
- (委員) そもそも、子どものスマートフォンの所持率ほどのくらいなのか。
- (委員) 所持率はどうか分からないが、親の携帯を使用する子どもは多いように感じる。
- (委員) 持っているかどうか、利用時間はどのくらいか、聞いてみてはどうか。
- (事務局) 質問を増やすことは難しくはないが、例2に追加する場合、例2は子どもにとっていい事を聞いている質問になるため、聞き方に配慮する必要があると思う。
- (委員) 「ルールを決めていますか」という聞き方ではどうか。
- (事務局) 持っていることが前提になってくると思うので、それが良いことと捉えられる面もある。メディアとの接触状況については、委員からの意見を踏まえ、事務局一任とさせて

いただきたい。その他、調査票の修正全般について、全て一任ということで宜しいか。

(委員) 意義なし。

(委員) スマートフォンの問題は、子どもよりも前に、保護者の状況がどうなのかが大事だと感じる。環境の要因が大きいのではないか。例えば、ノーテレビデーを設けているか、読書の時間を設けているかなど、啓発も含め、そうした家庭の子育て環境を聞いてみたい気がする。

(委員) 大人が変われば子どもも変わるという永遠のテーマではないか。皆が出来ているなら何も問題はない。出来ている家庭はほんの少しではないか。

(事務局) 市の文化振興課の方でも関連するアンケートを取っているため、市にあるデータを活用しながら今後の参考にしていきたい。

(委員) そうした結果を踏まえた子育ての研修会など、進んでいけばベストだと思う。

(委員) 各委員がそれぞれの活動の場で啓発をしたり、お互い連携したりしながら協力していくことも大事だと思う。

(事務局) 市も関連部署が連携して情報共有していきたい。

#### 4. 質疑応答

・他、意見なし

#### 5. その他

##### (1) 次回以降の開催日程について

(説明：事務局)

・第4回会議は未定、3月末開催から4月になる可能性もあり。調査結果の取りまとめ状況に応じて別途連絡する。

##### (2) 議事録の公開について

(説明：事務局)

・会議録については、事務局が作成し会長に確認していただいたうえで公開する予定。

⇒公開について、意義なく了承